

2013年3月25日

株式会社 富士キメラ総研  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
12-5 小伝馬町YSビル  
TEL.03-3664-5839 FAX.03-3661-1414  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
<http://www.fcr.co.jp/>  
広報部 03-3664-5697



## 大震災後のBCP/DR意識の高まりで重要度アップ データセンタービジネスの調査を実施

◆データセンターサービス市場 —2017年予測（2012年比）—

国内市場 1兆6,685億円（24.0%増） 世界市場 1兆3,855億円（13.9%増）

マーケティング&コンサルテーションの株式会社富士キメラ総研（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中 一志 03-3664-5839）は、2012年11月から2013年3月にかけて、顧客のサーバーを預かり運用する「ハウジングサービス」、コンピュータリソースを提供する「ホスティングサービス」「クラウドサービス」及び、インターネットへの接続回線や保守・運用サービスなどのデータセンターサービス市場、関連機器市場、更には主要事業者の取組み状況と、ユーザーの利用状況まで総合的に調査した。

その結果を報告書「データセンタービジネス市場調査総覧 2013年版（上巻・下巻）」にまとめた。

### <調査結果の概要>

#### 1. データセンターサービス国内市場

2012年の市場は前年比4.9%増の1兆3,454億円となり、2017年には2012年比24.0%増の1兆6,685億円が予測される。東日本大震災を契機とする事業継続計画（以降：BCP）/ディザスタリカバリー（以降：DR）対策が大手企業を中心に本格化した他、コスト削減を目的としたクラウドサービスの利用増加、クラウドサービス浸透による中小企業への普及などにより市場は拡大した。今後はBCP/DR需要やクラウドサービスの拡大だけでなく、ハードウェアの高性能化に伴う高密度ニーズ拡大と顧客単価の上昇、仮想化の進展によって運用が複雑化するサービスのアウトソーシングニーズなどにより市場が拡大すると予測される。

##### 1) 立地エリア別市場

ユーザーのニーズとして、駆けつけやすさなどの利便性を重視する傾向が強いため、データセンターは関東に集中しており、市場の6割が同エリアとなる。

関西では震災以降、大阪を中心にBCP/DR需要が増加している。関東と比較しデータセンターが少ないためサービス価格も安定しており、2012年、2013年と2年連続で5%以上の拡大が見込まれる。関西の地場企業のデータセンター利用は少ないことから潜在需要は高いと見られ、2015年頃の新設データセンター竣工により、需要喚起と共に市場拡大が期待される。

その他のエリアとしては、北海道は自治体の利用検討が進んでおり、中部では関東などからのバックアップセンター需要が増えている。中国は災害が少なく原子力発電所から距離があるという理由により岡山がBCP/DR対策拠点として注目されている。ホスティングやクラウドサービスを主体とする大型データセンターの増加により、市場は緩やかに拡大すると予測される。

##### 2) 新設データセンターの需給状況

2010年～2012年に竣工したデータセンターのサーバールーム面積における稼働比率である。

2010年に1.6万m<sup>2</sup>、2011年に3.0万m<sup>2</sup>、2012年に5.9万m<sup>2</sup>のサーバールームが新設され、3年間で約10万m<sup>2</sup>増加した。

新設データセンターの増加で、データセンター市場全体の需給バランスが崩れることが懸念されるが、新設データセンターの稼働率は堅調に推移し、2013年には累計稼働率も47.2%と半数近くになると見られる。市場としてもBCP/DR対策の新規需要や老朽化データセンターからの移設も見込まれるため、現時点では大きくバランスが崩れる状態にはなっていないと見られる。

## 2. データセンターサービス世界市場

2012年の世界市場は12兆1,704億円となり、2017年には13兆8,585億円が予測される。

地域別には、北米市場が最も大きく全体の3割以上を占めている。2008年のリーマンショック以降、データセンターの統合が進み、数は減少する一方で大型化が進んでいる。GoogleやAmazon Web Servicesなどクラウド事業者の需要拡大や、大型ハリケーンなどの災害を契機としたBCP/DR意識の高まりにより、市場は拡大すると予測される。

中国は、外部へのアウトソーシングの文化が根付いておらず市場規模は小さい。潜在性は高く、政府の後押しやクラウドサービスの進展によって、2017年は2012年と比較し3割弱拡大すると予測される。

特に大きな成長が見込めるのが、シンガポールやインドなどのアジアであり、ITインフラ整備に伴い、需要が高まると予測される。インドではインターネット利用者数が2011年に1億人を突破し、それ以降も年々拡大している。ECサイト件数の増加によりホスティングサービスの需要増加が予測される。シンガポールは、津波、地震、台風などの自然災害が少なく、電力や通信のインフラが整っているため、政府が積極的な誘致を行っており、外資系企業のハブ拠点として投資が集中しており、拡大している。

### <調査対象>

データセンターサービス市場	ホスティング（基本/アウトソーシング）、クラウドサービス（オートセルフ/オーダーメイド）、ハウジング（基本/アウトソーシング）、DinD、共同利用、ファシリティ、運用サービス、通信回線サービス
データセンター投資動向	ビル型データセンター、コンテナ型データセンター、パッケージエアコン、ターボ冷凍機、非常用発電機、UPS（無停電電源装置）、ラックマウントPDU、DCIM、サーバー、ストレージ、ルーター/スイッチ、運用管理ツール、仮想化ソフト、ウイルス対策ツール
サービスベンダー戦略分析	コンピュータベンダー/SIベンダー：19社、キャリア企業：6社、データセンター特化型（ファシリティ）：3社、データセンター特化型（サービス）：6社
ユーザーアンケート調査	Web アンケート：795社

### <調査方法>

富士キメラ総研専門調査員による参入企業・関連団体などへの直接面接取材を基本とし、関連文献、社内データベースも活用。ユーザーアンケートについては企業に対してWebによるアンケート調査を実施。

### <調査期間>

2012年11月～2013年3月

以上

資料タイトル	「データセンタービジネス市場調査総覧 2013年版（上・下巻）」
体 裁	A4判 上巻262頁、下巻278頁
価 格	各97,000円（税込み101,850円） CD-ROM付価格 各107,000円（税込み112,350円）
調査・編集	富士キメラ総研 研究開発本部 第二研究開発部門 TEL:03-3664-5839 FAX:03-3661-1414
発 行 所	株式会社 富士キメラ総研 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL03-3664-5839(代) FAX 03-3661-1414 e-mail:info@fcr.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="http://www.fcr.co.jp/">http://www.fcr.co.jp/</a>